

## 記者発表資料

発表年月日	送信枚数	発信元
令和元年5月27日	5枚 (本紙含む)	上郡記者クラブ事務局 担当：富山 T E L:0791-52-1111 F A X:0791-52-5172

# 上郡町議会定例会の開催

5月27日(月)に議会運営委員会を開催し、6月定例会の会期を6月4日(火)から6月14日(金)の11日間と決めました。

一般質問は、4日、5日の2日間です。ケーブルテレビでも放送します。

### ■期間

令和元年6月4日(火)～令和元年6月14日(金)の11日間  
午前10時から

### ■場所

上郡町役場 4階 議場(赤穂郡上郡町大持278番地)

### ■会議に付すべき事件

議事日程のとおり

### ■問い合わせ先

部署：上郡町議会事務局

住所：赤穂郡上郡町大持278

TEL：0791-52-3512 FAX：0791-52-6650

さわやかに歴史と  
未来の出逢うまち



上郡町

## 令和元年6月上郡町議会定例会日程

月 日	曜日	内 容
6 / 4	火	執行状況及び諸報告～一般質問
5	水	一般質問、議案説明及び表決、補正予算説明
6	木	休 会
7	金	休 会
8	(土)	休 会
9	(日)	休 会
10	月	休 会
11	火	休 会
12	水	休 会
13	木	補正予算表決
14	金	補正予算表決

# 令和元年6月上郡町議会定例会議事日程

(令和元年6月4日開会)

日程	議案番号	議 事 日 程
		議会運営委員長報告
1		会議録署名議員の指名
2		会期決定の件
3		町長挨拶（提出案件に対する説明）
4		執行状況及び諸報告
5		議会活動報告
6		常任委員長報告
7		特別委員長報告
8		一般質問
9	報告第1号	兵庫県町土地開発公社の業務報告の件
10	報告第2号	平成30年度上郡町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告の件
11	報告第3号	平成30年度上郡町特別会計公共下水道事業繰越明許費繰越計算書の報告の件
12	承認第7号	専決処分したものにつき承認を求める件（上郡町税条例の一部を改正する条例制定の件）
13	議案第32号	上郡町税条例等の一部を改正する条例制定の件
14	議案第33号	令和元年度上郡町一般会計補正予算の件

令和元年6月上郡町議会定例会  
一般質問通告書及び質問事項

質問者	質問の要旨	揭示物	答弁を求める者
(1) 梅田 修作	1. 当町における持続可能な将来像の構築について  先行自治体では持続可能で幸せな社会を構築するため、持続可能な開発目標（SDGs）の理念に基づき将来像を描き施策を展開させているが、当町では中長期的な将来像をどう描き取り組んでいるのか。とりわけ自治体SDGsの観点から答弁を得たい。	有	町 長
	2. 「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて  「誰一人取り残さない社会」の実現という理念に立脚し、このような社会を構築するため今後どのように取り組むのか。特に福祉分野において障害者、女性、高齢者など脆弱な立場に置かれやすい人たちを取り残さないための対応策、行政と住民との協働を促すための取り組みについて行政の見解や具体策を問いたい。	—	町 長
(2) 松本じゅんいち	1. 産廃最終処分場問題について  ① 「町民が健康で文化的な生活を営むためには、良好な環境が極めて重要である」とのはじまりで、上郡町環境保全条例がある。条例の目的と目標を問う。 ② 産廃処分場は良好な環境の確保に重大な影響を及ぼすと考えるが、同条例をどのように反映させていくのか。	—	町 長
	2. 「消滅可能性都市」と産廃処分場問題について  増田寛也（元岩手県知事、総務大臣、東大客員教授）の当時ベストセラーになり注目されている『地方消滅』著書で、上郡町は2040年に1万人未満で「消滅可能性が高い」自治体に該当し、兵庫県下ではワースト2に位置付けられている。 ① 町長はこの現状は何が原因であると考えるか。 ② 産廃処分場ができると「清流の町上郡」が「産廃の町上郡」となり、人口減少に拍車がかかると考えるがどう考えるか。 ③ 町長は産廃処分場は歓迎すべき施設ではないと答弁されている。首長として、明確な反対表明をする気はないか。	—	町 長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を求める者
(3) 井口まさのり	<p>1. 中学校給食について</p> <p>町長は2期目の公約に平成33年度を目途に公立認定こども園の開設と中学校給食の実現を掲げ就任され2年が経過する中で、公立認定こども園整備については着々と進捗がうかがえるが、中学校給食の実現に向けた現在の検討状況と課題、今後の方向性と実現見込みを伺いたい。</p> <p>① 中学校給食の実現に向けた現在の検討状況 ② 実現に向けた課題 ③ 今後の方向性と見込み</p>	—	町長
(4) 本林 宗興	<p>1. 当町における農政問題を問う。</p> <p>① 後継者・担い手育成施策を問う。 ② 農業法人化への取り組みを問う。 ③ 販路拡充に対する当町の取り組みを問う。 ④ 農業振興地域の今後の展望を問う。 ⑤ 市街化調整区域の今後の展望を問う。 ⑥ 近隣市町との協調性を問う。</p>	—	町長
	<p>2. 教育現場における働き方改革を問う。</p> <p>① 教職員の過重労働（時間外労働）への取り組みを問う。 ② 教職員の勤務体制に対し、国・県等への要望状況を問う。</p>	—	教育長
(5) 立花 照弘	<p>1. 防災事業の進捗状況と啓蒙について</p> <p>① 防災組織の構築状況はどうか。 ② 赤松地区におけるモデル事業の取り組み状況はどうか。 ③ 防災事業の今後の進め方は ④ 警戒レベルの表示変更と住民周知の具体策はどうか。 ⑤ 浸水想定区域の改訂について ⑥ 避難所の開設について</p>	—	町長
	<p>2. 町が実施する住宅の耐震化対策等について</p> <p>① 事業の内容について ② 事業の実施状況はどうか。</p>	—	町長
(6) 田渕 千洋	<p>1. お悔みコーナーの設置について</p> <p>超高齢化社会を見据え、町民サービス向上のため、死亡手続きの負担を減らすワンストップ窓口の設置について、見解を伺う。</p>	—	町長
	<p>2. SDGsの推進について</p> <p>本町としてSDGs導入のための理解促進、取り組み体制、目標設定等、どう取り組むのか伺う。</p>	—	町長